



防護服を着込んだ作業の大変さを思い知りました



だんだん上達していきました

## みどりの 女神が行く!



竹川 智世 (たけかわ ちせ)

### 正しい「安全」を学ぶ! チェーンソーの講習に参加

群馬県沼田市の森林技術総合研修所で、チェーンソーの特別講習を受けてきました!私は小学生の頃に大人の補助有り、チェーンソーでの間伐体験があります。その時は無邪気に、ただ楽しい思い出だったので、チェーンソーには良いイメージだけがありました。しかし今思うと、間伐作業の大変さをきちんと感じることは出来ていませんでした。

講習では、チェーンソーの解体、組み立て作業を通じて、どういう仕組みでチェーンソーが動いているのかを学び、実際にチェーンソーを使い、受け口、追い口、ツル、などの作り方を教えていただきました。受け口、追い口の端を綺麗に揃えることが難しく、伐採方向として定めた方向に補助なしで倒す

には、何回も練習が必要でした。

印象的だったことは、講習中に何度も「安全」という言葉が出てきたことです。すべては作業者である個人、ひとりひとりの安全のために行われています。

防護服の仕組みには驚きました。防護服にチェーンソーがもし当たってしまったら、防護服の中から沢山の繊維が出てきて、チェーンソーの歯を止めることができます!

ただ、防護服の難点は暑いことです。特に夏の暑い季節に、長袖長ズボンでチェーンソーを持ちながらの長時間の作業となると、本当に大変だと思います。

安全に備えることは大事ですが、同時に現場は大変であることも知ることができました。

安全を発信することも私の役目です。現場の方々の目線で何が大変かと言うこともちゃんとわかった上で安全を発信していきたいと思いました。

### 外国での活動で 認証材の大切さに触れる

念願の海外での活動もして参りました!準ミス日本の霜野莉沙さんと一緒に、パリで行われたガーデンパーティーに参加し、2025大阪万博誘致のために関西の魅力を振袖姿でPRしてきました。

そのフランスではとても驚くことがありました!フランスでFSC認証マークの付いている製品を街中で沢山発見したことです!



パリの雑貨店でよく見かけたFSCマーク

私は認証材関係の方から「消費者が認証材マークのついた商品を好んで選ばないと、生産者もマークを付けない」というお話を聞いたことがありました。欧州はFSC認証マークがたくさんあるというところは、つまり消費者が認証材を好んで使っているということです。日本でも多くの人が認証材を使った商品を選ぶようになってほしく思いました!

私の大学でも、認証材のお話しをしたことで、認証材マークに注目してくれる友人が沢山います。今話題のプラスチック海洋汚染も、知っている人が増えたおかげで、学校の購買からレジ袋を無くす働きかけがおきています。

認証材がすばらしいことを発信し、認証材を選ぶ人を増やしていきたいと思えます。